熱帯では森林(密林)の上空を通過した巨大な帯状の水蒸気の流れ(大気の川)が雨を降らせる

アマゾンの"空飛ぶ川" 見えてきた地球規模の水循環 (2023.3,2NHKbs プレ放送)

水循環のフィードバックを通して森林が数百キロメートル風下の降雨を強力に制御している。

密林の上空を通過した大気は、まばらな植生の上空を通過した大気の<u>約2倍の降雨</u>をもたらす。 その源泉は①枝や葉で遮断された**雨水の遮断蒸発**(枝葉の撥水性が大程蒸発は大)

遮断蒸発<<蒸散

- ②・樹木(根+菌根菌)が地下水源から吸い上げた水の蒸散(光合成に必要な水分は僅少)
- ・<u>蒸散</u>とは、樹木(主に葉の裏の気孔)が土から水分を吸収して空気中水蒸気として排出しているもので、この作用によって、水分が蒸発する時に、周りの熱をうばうことになる。 太陽からの熱量を 100 とすると、樹木の蒸散によって奪われるのは約6割、地表に届くのはわずか4割ほどにすぎない。
- ・<u>菌根菌</u>とは、菌根を作って植物と共生する菌類。土壌中の糸状菌が、植物の根の表面または内部に着生したものを**菌根**と言う。 アマゾンの**森林破壊(乱伐採)**が現在の速さで進行すれば、**気候変動→干ばつ、砂漠化** 局地的な降雨に対する極端な影響を避けるには、**森林破壊を抑制する取り組み**がきわめて重要になる。

巨大な帯状の大気の川: 生物ポンプ説

森林からの蒸発・蒸散は他の地球表面からの蒸発よりも大きいため、大陸大規模流域の森林はその蒸発を補うために 海から内陸へと水蒸気を能動的に輸送して内陸に降水をもたらしているとされる

エーロゾルとは空気中に漂う微細な粒子、雲凝結核。空気中の水蒸気(気体)は森の中で作られる生物由来のエーロゾルを核として凝結し雲粒(水滴=液体)になる。(森が雨を降らし気候を作り出している)

